



平成24年3月21日

空海も、楠正成も、天誅組も歩いた 第27回 歴史探訪の会 西高野街道の遺跡探訪

説明者 NPO堺観光ボランティア協会 柿澤和代氏
大阪府立大学 山口課長他先生方

真言密教の聖地、高野山が弘仁7年(816)弘法大師によって開創されてから
平成27年4月には1200年目を迎えます。
かつては高野山詣りの人々で賑わった西高野街道。
大師信仰が根強く残る沿道には道行く人々の安全を祈る、お地蔵様や祠、
昔ながらの風情ある町並み、価値ある史跡や道標が数多く残っています。
春の一日、堺を通る歴史街道、西高野街道を歩きました

“微笑めば ほほえみかえす 野のほとけ”を合言葉に
「黄金のまち堺から聖山高野山へ」の第一歩のコースを刻んでいきましょう。
説明者柿澤氏の明るい名調子で始まりました

高野街道・・・

西高野・東高野・中(上)高野・下高野・高野
それぞれの道は河内長野で一本にまとまり紀見峠を越え、高野山へ・・・

その中の東高野街道は最も古く生駒山麓を通り、当初は貴族や武士が
この道を利用していた。平安時代、京と河内、和泉両国府を結ぶ連絡道として発展。
藤原道長がこの道を通り高野山詣りをしたことで大師信仰が栄えとなる。

西高野街道・・・

南北朝時代、摂津・河内・和泉の南朝方を結ぶ軍事、流通の重要ルート。
室町時代、堺の発展により流通路として大いに賑わう。
江戸時代、大坂、堺から高野参詣の最短ルートとして、おかげさま・おもてなしの
信仰の道として、(講をつくって庶民が高野詣りをすることを広めた・・・高野聖)
また、堺、泉北、河南の産物の流通の動脈でもあった。

堺市役所前市民広場スタート

午前10:00

出発地点の堺市役所前は春らしく菜の花いっぱいが迎えてくれました



榎宝キョウ印塔(お経をおさめた塔)

慶安元年(1648)僧、夢幻永海が願主となって近郷近在の人々に呼びかけ「塔を路辺に据え置いてあまねく通行の人々とも良縁を結びたい」との趣意の下、竹内、西高野街道の要路に面して塔が建立された。
塔の高さ、4.39m 基礎の下部中央には光明真言の巻物や記録類、舍利入りの香合1個が昭和30年の修理時に発見！
創建当時の姿を完全にとどめる陀羅尼を納めた塔。

* 陀羅尼・・・密教における秘密語(長い語)

* 真言・・・ 々 (短い語)

いずれも、これを誦すれば種々の功德を受けるとされている。

塔の四隅の角様の飾りは直立しているものほど古く、新しいものほど外側に反り返る。

* 五輪塔

五大にかたどった五つの部分から成り立った塔。

平安時代中頃から供養塔、墓碑塔として用いられる。

空輪(宝珠形) 上

風輪(半球形)

火輪(三角形)

水輪(球形)

地輪(方形) 下



十三里石

高野山女人堂までの最初の里石。ここから高野山まで十三里(約52km)の石標。建立は安政4年(1857)2月～9月にかけて・・・

狭山、茱萸の木の小左衛門と五兵衛という二人のお百姓が建立の発起人。
(江戸時代はじめての1里塚が荒廃して往来の人々が難儀していたのを見かねて名もないお百姓二人が里石建立の為に奔放した事実、幕末頃でも高野山をめざす人々が多かったことが浮かび上がってくる。)

里石は13里石～1里石まですべて現存！！

石材は花崗岩。高さ1.5m 24cmの角柱。

女人堂までの里数、建立年月。発起人 小左衛門・五兵衛の氏名

建立寄進者の氏名。“南無大師遍照金剛”が刻印されてある。



竹内・西高野街道分岐点

左へ道をとれば(竹内街道)

金田～羽曳野～古市～二上山・竹内峠～大和飛鳥へ

右に道をとれば(西高野街道)

右に道をとれば(西高野街道)



榎歩道橋

仁徳陵の後円部頂上が見える。南には履中陵、北には反正陵、三陵を見渡せるビュースポット！
仁徳陵後円部濠を右手に国道310線へ



梅北の交差点を左折、西高野街道へ
石田邸、浄土真宗本通寺など昔の街道の面影残る町並み。

百舌鳥の大楠

大阪府下で最古の樹木。推定樹齢800年とも千年とも……
大阪府指定の天然記念物、幹回り10.1m、樹高13m
戦国武将、筒井順慶の子孫の住居の門前にそびえ立つ。
筒井家は江戸時代初期、この地一帯を開拓して庄屋を努めた豪農。

この楠はご神木と崇められ干ばつの時には雨乞いの祈りを捧げた。
“楠木 千年 今日ふたたびの若葉かな”



御廟表塚古墳

堺市内で唯一自由にに入れる古墳。全長約75m 高さ5m
円墳のように見えるが元は帆立貝形古墳。円筒、朝顔、形象埴輪が出土
出土物から5世紀中～後期の築造か。

ふたたび国道310号線に出て大阪府立大学、白鷺門をめざす！

大阪府立大学

大阪・堺・河内・泉州という歴史ある地を基盤に、世界水準の“知”を世界に発信するキャンパス。前身は浪速大学。

白鷺門

緑豊かな歴史あるキャンパス・ストリート。風格と知性を喚起する空間として造られた。

府大・石のモニュメント

白鷺キャンパス・ストリートには大学のシンボルとして高く積み上げられた9個の石のモニュメントが目を引く。3つのブロックに別れ上に行くほど加工されて磨きがかかり、原石に手が加えられて完成していく状態は大学における人格の形成、真理の探究、研究の過程を表現している。

府大のキャンパスは広大ですが時間があれば構内にある聖塚古墳など探訪できればと思います。



研究フィールドでの農場見学と昆虫標本の見学

マンゴーとトマト農園



昆虫類428,000点の中から代表的な標本見学と講義を頂く



白鷺門から出て府大をあとに国道310号線の信号を渡り西高野街道へ

白鷺公園

昭和59年、9万平方mの堺市総合公園として開設。運動場、野球場
自動遊戯コーナー、遊水地としての但馬池がある。
5月～6月にかけて堺市の市花である花菖蒲が見事な花を咲かす。



関茶屋・12里石

南北朝期、楠木氏がこの地の土豪であった日置武光に西高野街道に
関を設けさせ要害として守らせた。後年、この関跡に茶屋が出来て
関茶屋と呼ばれた。
当地の「胡麻平」と呼ばれた油屋の片上家は高野山参詣の都度、
宮家が宿泊された家柄である。



12里石を過ぎて西高野街道左折、(ナガイ理髪店と木田酒店のところで)

出雲大社御旅所(左に見て)突き当りを右へ

ほどなく行くと出雲大社大阪分祠の脇門が左手にある

出雲大社大阪分祠 午後13:30～14:00着

出雲大社 別名、初芝さんと呼ばれ昭和21年愛宕神社として創建。
昭和23年島根県出雲大社より分祀、大國主大神を拝領合祀して出雲大社に改名
一般の神社と異なり独立した宗教法人である。
大相撲陸奥部屋が春場所の宿舎としている。



(参照)

日置荘西町窯跡群

緩やかな坂を下りたあたりにペゴニア公園という小さな公園
その中に窯跡群の表示板がある。ここからは古墳時代の円筒・形象埴輪が出土

萩原天神

行基が開基した萩原寺か？ 当地の町名も日置荘原寺は萩原寺に由来する。
社伝に寄れば天徳3年(960)菅原道真公が祀られたことが記されている。
本殿の脇に保存されている旧本殿は350年前の建築
平安時代の古瓦などが発掘され、北緯34度32分「太陽の道」上にある。



* 太陽の道

奈良の写真家、小川光三氏が発見しNHKプロデューサー水谷慶一氏が番組を制作。
北緯34度32分の線上にほぼ3キロの等間隔で神社や遺跡(巨石)が並ぶというもの。
三輪山から二上山を結ぶ線上には箸墓古墳や重要な古墳や神社があるという。
この線上を太陽の道(サンロード)として辿っていくと古代の不思議が見えてくる。
日置荘地区もその名が示す通り太陽に関係した地名である。
萩原天神から西へ行けば大鳥神社～淡路島の舟木～広島に加茂へ
東へ行けば三輪山～長谷寺～室生寺～伊勢～神島～伊豆半島加茂郡～
千葉加茂郡へ
この線上の真只中にある日置荘と萩原天神の謎を皆さんも探って見られたら？

